



エール事業 スタートアップコース 活動報告 〈令和7年度〉

**NPO法人
おいしい給食かまくら**





私たちの理念

子どもの食を健全に

農薬・添加物が世界一認められている日本でも諦めたくない！一歩ずつでも未来を担う子どもに安全な食べ物を。

農業を健全に

農薬や化学肥料を使わない農業の推進で日本の自給率も就農率も上がり、土地もそこに生きる命も健やかに。

地球環境を健全に

給食が変われば農業や地域の関わり方に変化が起きる。自然を慈しむ心、地域間・世代間のつながりを取り戻して笑顔あふれる鎌倉に。

子

どもたちの健康を育む 学校給食を求めて

全国的にも給食の見直しの動きが広まっています。鎌倉市では2023年度、2度のオーガニック給食が実現されました。

この先も子どもたちに安全で豊かな食を届けたい。この想いで食の大切さ、農業の大切さ、地産地消の大切さなどを伝える活動をしています。

農業を守ることは 命を守ること

無農薬栽培・有機農法が増えることが望まれるが、その転換は時間的にも経済的にも大変なこと。まずは貴重な農家さんを行政が経済的に支え、子どもの健康のために転換していく方向を目指していただきたいと思います。

食料自給率 2%の

神奈川県

(カロリーベース)

東京・大阪に次いでワースト3です。

(単位：%)

	カロリーベース	生産額ベース
全国	38	66
北海道	216	211
青森	123	241
岩手	107	199
宮城	73	96
秋田	205	163
山形	145	191
福島	78	93
茨城	66	122
栃木	71	110
群馬	32	96
千葉	24	59
東京	0	3
神奈川	2	12
富山	76	63
石川	47	50
福井	66	59
山梨	19	85
長野	53	134
岐阜	25	43
静岡	15	53
愛知	12	32
三重	39	64

	カロリーベース	生産額ベース
全国	38	66
滋賀	49	38
京都	12	19
大阪	1	6
兵庫	15	38
奈良	14	23
和歌山	28	110
鳥取	61	135
島根	61	106
岡山	36	62
広島	21	39
山口	29	44
徳島	41	116
香川	33	92
愛媛	35	114
高知	43	170
福岡	19	36
佐賀	72	136
長崎	39	145
熊本	56	159
大分	42	114
宮崎	60	284
鹿児島	78	275
沖縄	34	63

農林水産省 (令和元年)

減り続ける 鎌倉市内の農家さん

年々減り続け、30年弱で1/3まで減ってしまいました。
コロナ禍を経てさらに減っていることが予想されます。



給食の食材は まずは地産地消から

米の価格高騰や世界情勢の趨勢で簡単に脅かされる日本の食卓。

まずは貴重な農家さんを行政が経済的に支援する第一歩として、地産地消を目指しませんか？



国からの補助金などは、今後も先細りの一途。
今こそ！市町村ができる

「給食という名の大口定期購入」を！

〈農家さん・市民・環境にも！三方ヨシ！〉

鎌

倉市のオーガニック給食の 取り組み（年2食程度提供）



12月8日は「有機農業の日」です。
令和4年12月8日、**市立小学校3校、全
中学校**で、オーガニックの野菜（にんじん、だいこん、こまつな）を使用した給食を提供しました！

開催報告

マルシェ開催

鎌倉にありそうでなかった！
オーガニックマルシェの開催！





収穫から お手伝い

1

2025.10.25

鎌人いちば

(雨天中止)

@鈴木屋商店



1
2025.10.25
鎌人いちば
(雨天中止)
@鈴木屋商店



2

2025.12.14

NPOフェスティバル
@玉縄交流センター





3

2025.12.20

由比ガ浜公会堂

マルシェ

食にまつわる映画の 上映会の開催

今期は会場・スタッフの確保が難しく、
開催できませんでした。

縁農

市民と農家さんをつなぐ プラットフォーム作り

- 農家さんと買い手をつなぐプラットフォームを築き、農家さん・買い手双方の利便性を上げる。
- 繁忙期の人手不足解消
- 子どもの農業体験

公式LINE により
情報発信をしています！



市議会他への働きかけ

＊農業は市政のバックアップが必要不可欠なため、**有機農業振興を図るマルシェ開催について支援を求める請願提出。**

＊その後JAさんとの会合なども開催。

2025年12月 建設常任委員会
“有機農業の振興を図るイベントの開催に対する支援についての請願”

⇒ **【賛成多数により採択】**



活動の課題と展望

＊農家さんの会員（特に鎌倉市内）とともに、一般の会員さんやマルシェのお客さんを増やしていくこと。

＊食の現状についての映画の上映会が人手不足により開催できなかったので、スタッフを増やしていくこと。

農家さんとの関係性が定着してきたので、農家さんの実情（援農の必要な時期や端境期やお困りごと）なども聞こえてきたので、より多くの人と農家さんを繋いでいきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました